

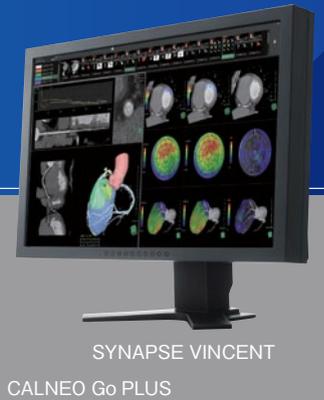


富士フイルムメディカル

<http://fms.fujifilm.co.jp/index.html>

theme **Value from Innovation**
 ~医療のいちばん近くから、次代を見つめる~

- [主な展示製品]
- 医用画像情報システム「SYNAPSE 5」
 - 医用ITクラウドサービス「SYNAPSE EVREA」
 - ポリュームアナライザー「SYNAPSE VINCENT」
 - 回診用X線撮影装置「CALNEO Go PLUS」
 - 軽量移動型デジタルX線撮影装置「CALNEO AQRO」
 - トモシンセシス対応デジタル式乳房用X線装置「AMULET Innovality」
 - 超音波画像診断装置「FC1-X」



SYNAPSE VINCENT
CALNEO Go PLUS

富士フイルムは、『AI』や『IoT』などの最新技術と画像処理技術を組み合わせ、医療の現場に価値ある製品やサービスを提供することを目指している。今年のブースでは、同社が目指す、次代の医療を担うシステムとソリューションを展示する。

ITソリューション

『Open Integration. Good Solution.』をテーマに、より効率的かつ効果的に診断や治療を支援する製品・ソリューションを紹介する。

同コーナーでは、読影ソリューションとして最新の「SYNAPSE5」と「EX-V」を展示。「SYNAPSE5」は画像表示の高速化と新機能の追加により、臨

床における画像診断の効率化を力強く支援する。高度な解析性能を持つ3D画像システム「SYNAPSE VINCENT」には新たに「IVRシミュレータ」、「4Dフロー解析」等のソフトウェアが追加され、より幅広い診療科への対応が可能となった。今回初展示する医用ITクラウドサービス「SYNAPSE EVREA」は、同社が「SYNAPSE」シリーズで培ってきたPACSとしての機能をクラウド環境で手軽に利用できるようにしたシステム。初期投資を大幅に抑え、院内サーバ不要で運用できる。

モダリティソリューション

同コーナーのテーマは、『快適なワークフローを実現するFUJIFILM DR

LOW-DOSE SOLUTIONS』。

同コーナーでは、今年1月に販売を開始した回診用X線撮影装置「CALNEO Go PLUS」を展示。同製品は、富士フイルムが培ってきたさまざまな画像処理技術により、CR方式と比較して線量を約1/4に抑えながらも高画質画像を実現。高さ調節が可能な昇降支柱を採用したことで、移動時の前方視野がさらに広がった。その他、受診者にも操作者にも優しい新機能を追加したデジタル式乳房用X線装置「AMULET Innovality」も出展する。

加えて、POCユースに特化した超音波画像診断装置のフルラインアップや、銀増幅技術を応用しウイルスなどを高感度検出する感染症検査装置の新製品「IMMUNO AG2」も展示する。